児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

◉評価実施時期　…令和２年12月７日、無記名で回収ＢＯＸへ投函
◉対象…常勤職員15名　／　短時間職員4名

公表：令和 ２年１２月　25日

事業所名　　桂堂学園

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	3	1	・療育部以外の場に分散させ、個々に対応している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	9	7	3	・日々、（配置を）綿密に組まれているが、不安も否めない。	・職員は規定以上の人数を配置している。更に余裕を持ち療育ができるように人材を募集中である。
	3	生活空間は、園児にわかりやすく構造化された環境になっているか	17	2		・今後も、子ども達の安定した日常生活が送れるよう、目的ごとに空間を区分けできると良い。	
	4	施設の設備は、事故防止や飛び出し防止などの配慮がされているか	18		1		
	5	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境で、また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16	3		・時々、片付けが終わらないまま次の活動場所へ移るので気を付けます。 ・子ども達の特性に配慮した活動内容になっていない時間帯がある。その為パニックを起こし結果子ども達の生きにくさの解決になっていない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	15	3	1	・ケース、リーダー、療育部、職員会議を通して参画したが、パート職員が難しい	
	7	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	16	3			
	8	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	19				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	4	・率直な評価改善は勤務時間。療育内容については評価を受けていない。	・現在、「こども園」を含めて法人内の施設で外部評価は行っていない。今後の実施については、当園が独自で行うのではなく、理事会で決定することになる。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	16	3		・園内外、共に研修の機会を設けている。 （今年度はコロナ禍により、研修会の多くが中止となっている）	・外部研修の参加に加えて、園内ではＷＥＢセミナーや毎月２回の園内研修を実施している。今年度は12月までに園内外の研修会及び研修報告会を合計３１回行った。
	11	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18	1			

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	12	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	3	2	・今年度、年長児のみがＳＭ検査等を実施した。他児は検査を行っていない。 ・ＳＭ検査、遠城寺式を使用している。	
	13	児童発達支援計画には、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	3			・当学園では「発達支援」「家族支援」「地域支援」の３つを柱として支援を行っている。
	14	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	16	3			・当学園では「療育の内容に関する全体的な計画」を作成しており、計画に沿って支援して。
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15	3	1		・基本はホームリーダーが立案して、各ホーム内で打ち合わせをしている。
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	5	1	・活動内容や子どもの興味によっては、ホームどとの行動に拘らないようにした。 ・活動プログラムの目標を日々替えて、同じ活動でも視点を変えて行っている	・活動内容により連続して行う必要がある場合もあり、一概に毎日の変化を良しとするものではない。天候や子どもの状況に応じて活動を工夫していると思う。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	16	3			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	16	2	1	・確認をしているが、特に役割がずれている場合もある為、活動時に職員間での声掛けが必要 ・周りの状況を見て動いている。 （全体のしっかりとして確認が必要）	・朝礼で確認した後に伝達ノートにも記載し、遅出勤の職員が確認するシステムである。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	5	1		・夕礼で当日の申し送りと翌日の予定を確認している。療育部職員は療育終了後に個々で「一日の振り返り」が必要である事を園内研修で伝えてある。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16	3		・毎日の気づきをノートに書き留め、その後に活かすようにしています ・子ども達が各自達成感を得ることが出来るよ良い。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している か	17	2			・モニタリングを実施している。
	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	17	2		・コロナ禍で今年度は実施していない。	
	23	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	16	3		・子ども支援センター、健康推進課、障害福祉課、児童相談所、養護施設と連携して支援を行っている。	・関係機関と連携を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	2		・相互理解が出来ている園がほとんどだったが全て図るのは難しかった。	
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	2		・３月～４，５月にかけて、令和元年度卒園児全てに実施した。	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17	1	1	・連携を十分に図り、互いに意見交換を行っている。	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	2	1	・併行通園の子は交流があると思います ・「乗馬体験」で旭ヶ丘と新井田こども園の園児が来園し交流を深めた ・コロナ禍で行事が少なくなっているが、極力機会を設けて実施している	・今年度は「さつま芋植え」「児童科学館」「芋ほり」「乗馬体験」「感謝訪問」でこども園と交流している。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	16	3		・すわクリニック開催の「すまいるプロジェクト」に担任３名が参加した。	・コロナ禍で地域の子育て会議等の開催は「すまいるプロジェクト」の１件だけ。今後、会議が開催されるのであれば積極的に参加する予定
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18	1		・日々、おたより帳を通して伝えているつもりだが、実は療育の内容や子どもの成長、発達、変化が伝わっていない可能性がある ・連絡帳でのやりとり、電話での問い合わせに丁寧に対応している	
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っているか	14	3	2	・「親子通園型療育体験」で実施している内容を在園児保護者にも行ってみる。具体的な目標やテーマを決めたグループワークが出来ると良い。 ・コロナ禍の為、集団では実施していないが特性を踏まえた対応を保護者ができるように支援している	
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	16	3		・入園時に実施している。	・保護者のほぼ全世帯から「はい」の回答があり、「とても分かりやすく説明して頂いた」とのご意見があった。
	32	児童発達支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	19				
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	17	2			・個別面談を実施している

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明責任等	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	15	4		・年長児保護者に実施。今後はＲ３，１月に療育相談を実施する予定 ・コロナ禍の為、開催は難しかったが今度実施する予定	・年長児は卒園に向けた話し合いを行っているが、その他については目的のない集会は敢えて実施していない
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	2		・特に併行通園児の保護者の意向を尊重し、迅速に対応した。	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1		ホーム通信やどれみで、活動内容等を分かりやすく伝えていると思います	・毎月の会報の他に、臨時の連絡事項については、「ケータイ連絡くん」で発信している
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	17	2			
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	3			
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13	5	1	・コロナ禍で今年度は難しい状況の中、「親子通園型療育体験」を実施。一方で在園児の行事に地域住民を招待するのは難しかった。 ・えんぶり等の時には地域の方も招待している。	・昨年は獅子舞、成道会、えんぶり等に地域の方々を招待していたが、今年度はコロナ禍で実施できない。そうした状況を理解して欲しい。
非常時の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	19				
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	19			・学園バスに乗車し、遠方まで避難する訓練を実施した。	
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	19			・保護者から常時服用している薬の処方箋を提出してもらいコピー保管している	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	18	1		・アレルギー児のトレイの色を変えたり、ネームプレートも一目で分かりやすくしている	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	1	1		・当園で作成している「インシデントレポート」が「ヒヤリハット」に代わるものであり、職員のインシデントに加えて園児の事故やケガの状況を記述し改善策を講じている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	19				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか					・どのような場合でも身体拘束は禁止しており、その為に支援計画にも記載していない（該当しない

＜自己評価の集計結果に関する検討会＞

12月16日の職員会議及び23日の療育部会議で、集計結果について検討を行った。チェック項目を理解しないままの回答や、個人的意見での回答も見られた。現時点での改善点として、職員定数を満たしているものの多くの職員が人員不足を感じている為、人材確保が第一目標である。

その他については、今後も会議のたびに認識をすり合わせて全職員で共有し、更に事業所として質の向上に努めていきたい。